

中国のゾンビ企業  
—その発生原因と回復過程に関する実証分析—

王 楽

〈要旨〉

本論文は、中国のゾンビ企業を識別し、その現状を確認してから、2000～2014年の上場企業を対象として、ゾンビ企業の発生原因を実証分析する。主な結果として、民営企業と比べて国有企業の方がゾンビ企業になりやすいが、ゾンビ状態から回復する確率は両者の間で有意に異なるとは言えない。また、取締役の独立性の高い企業ではゾンビ企業になる確率が低く、高い集中度という所有構造が一種の監督機能を果たすと考えられる。